

令和 7 年第 2 回定例会の議案に対するご意見の議会反映状況

議案第 3 6 号 令和 7 年度いなべ市一般会計補正予算（第 1 号）

★人生 1 0 0 年時代づくり・地域創生ソフト交付金事業

議案に対する御意見	議会反映状況
事業の概要をもう少し詳しく説明してもらえないと、判断が難しいです。健康データを収集して分析し、「それをどう活用できるのか?」「どういうメリットがあるのか?」の説明まで欲しいかな。市民にとってはその情報が重要です。	国の「人生 100 年時代づくり・地域創生ソフト交付金」を活用して行います。 事業の概要は、「通いの場」で市民の健康状態、生活傾向などのデータを収集し、そのデータを基に行政サービスを考えていくための事業になります。 市民にどういうメリットがあるかについては、市民から得たデータを基により効果ある事業を考えることができるものとなります。
こちらは、これからの課題として大事な事だと思います。	今後、効果ある行政サービスにつなげられるよう、議会が監視していきます。

議案第36号 令和7年度いなべ市一般会計補正予算（第1号）

★山辺を核とした自立的観光振興事業

議案に対する御意見	議会反映状況
これに関しても、この予算を投入することで市民にとってどんなメリットがあるのか？を具体的に説明してください。この事業に関しては特に、これまでの集客率やそれがどのように市民へのメリットにつながっているのか、現時点でのデータが出せるはずです。それをもとに、これを導入することによってどんな展望が見込めるのか？ 市民にとっていちばんの関心ごとはそこだと思います。 単純に予算額と導入内容のみを記載して「意見を募集しました」というのでは形だけのもので意味がないと思います。 ちなみに、この事業についてはこのような感じで今後もどんどん予算が追加されていくのでしょうか？？？ 運営そのものに関しても見通しや責任の所在をはっきりしてもらいたいものです。 それにしても7700万円とは、あまりにも金額が大きい気がしますが。	この事業は、農業公園梅林公園に整備中のグランピング施設、拠点棟及びツーリズム事業の一体的な運用体制を構築するために、宿泊及び体験の予約、観光情報の取得、宿泊及びキャンプ場の利用の受付並びに無人販売所の管理が一括して可能となるプラットホームを導入します。また、レストラン什器（じゅうき）等を購入します。 【市民にとってのメリット・事業の展望】 プラットホームの導入によって、集客、地域商品の販売などが一体的に展開できるようになります。 市内の様々な事業者が参入できるようになります。 【これまでの実績】 野遊びSDGs推進基本計画を達成するため、今後も国の交付金を活用しながら、3か年計画で事業が進みます。 令和7年度7,700万円（内1/2の3,850万円は国の交付金） 令和8年度2,600万円（内1/2の1,300万円は国の交付金） 令和9年度1,800万円（内1/2の900万円は国の交付金） 【これからも予算の追加はあるか】 令和7年度は7,700万円で事業を実施しますが、翌年度以降は追加して事業の提案があるものと考えます。その都度、議会では慎重に審議し、是非を判断していきます。 【事業の責任】 農林商工部商工観光課と（一社）グリーンクリエイティブいなべなどが中心に事業を展開します。

観光に関する取り組みは、もう十分です。十分というのは、そんなことに金かけるのなら、市民の日常生活に関することに金をかけて欲しいのです。若い母親達と言います。気軽に行ける公園があったらいいなど。

また、道路の両側が草ぼうぼうになっていたり、白線や横断歩道が消えかかっていると寂れた感じがします。

日常生活に満足できれば、自ずと人は寄ってきます。どうか観光という、市民以外に目を向けた取り組みを卒業してください。

いなべ市の予算２８０億円の中で、福祉、子育て、教育、道路整備、環境などさまざまな分野に予算を割り当てています。

商工費は毎年度、全体予算のうち２～５％程度で推移しています。

議会では、観光に関する事業だけでなく、福祉、子育て、教育、道路整備などさまざまな分野で市民の生活が向上するために、提言、監視をしっかりと行っています。

今回いただいた意見により、議会で審議している内容を市民に伝えきれていないことをあらためて認識しました。

今後も引き続き、市民の生活に直接影響のある行政サービスの充実が図られるよう努めます。